

令和5年度 第3回 四街道市教育振興基本計画策定委員会会議録

開催日時 令和5年10月26日(木) 10:00~12:00
場 所 市役所第二庁舎 第2会議室
出席委員 江崎会長、小宮山副会長、上田委員、福田委員、能村委員、神田委員、山岸委員、
千脇委員、花井委員、米家委員
欠席委員 鈴木委員、後藤委員、中島委員
事務局 教育部：府川教育長、石川部長、真田副参事
教育総務課：久保木課長、小安係長、久保主事
学務課：飯村課長
指導課：伊藤課長
社会教育課：荒木課長
スポーツ青少年課：仲田課長
青少年育成センター：米村所長
傍聴人 2名

会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 会長挨拶
4. 議題
(1) 第2期四街道市教育振興基本計画(案)について
(2) 副題(サブタイトル)の設定について
5. その他
6. 閉会

議 事

議題(1) 第2期四街道市教育振興基本計画(案)について

教育総務課 (資料1：第1章から第4章を説明)

江崎議長 質問や意見等はあるか。

米家委員 38ページの「第4章 教育の振興に関する施策の大綱」の図は、とても分かりやすいと感じる。

江崎議長 他にあるか。

花井委員 本計画案がパブリックコメントに出される際に、全国学力・学習状況調査の結果が下がっているという状況(11ページ)がある。市民に誤解や不安を与えないよう、状況を踏まえた説明などが必要ではないか。

江崎議長 児童生徒の学力についての意見だが、不登校児童生徒数の推移(12ページ)に関しても同様の懸念がある。事務局はどのように対応するか。

指導課 全国学力・学習状況調査の結果は、毎年度ホームページ等で公表している。この

結果をもとに、施策を展開していく。不登校については、本市だけでなく全国的な状況である。不登校の子どもは、それぞれが抱えているいろいろな状況がある。学習機会の確保等、今後重点をおいて取り組んでいきたい。

江崎議長
上田委員

これについて、学校関係の委員から意見はあるか。

花井委員が心配されているように、勉強や不登校のことは、市民の方から見ると学校の問題というふうに分えられてしまう可能性があると思う。授業改善など教職員が取り組むべき課題もあると思うが、家庭における学習習慣の形成やコロナによって失われた3年間の影響など様々な要因が考えられる。不登校の件については、学校に行けなくてもサポートスクールに通い、出席扱いとなっている状況があるとか、医療的なアドバイスを受けながら登校している場合など、いろいろなケースがある。

花井委員

パブリックコメントで、市民の皆様から意見・質問等があった場合には、丁寧な説明をお願いします。

次に、第1期計画の達成状況（33ページから37ページ）について、達成しているか否かの表記を分かりやすく工夫してほしい。

江崎議長
教育総務課

事務局において、適切な対応をお願いします。

（資料1：第5章を説明）

江崎議長
上田委員

基本目標1について、質問や意見等はあるか。

成果指標の設定について、増加を目指すという意味の矢印マークがあるが、全て同じマークのため、なくていいのではと感じた。また、教職員として「生きがいを感じる」という表記（41ページ）に重たさを感じた。他の表現に変えられないか。

山岸委員

言いかえとして「やりがい」はどうか。

江崎議長
教育総務課

事務局はどう感じるか。

矢印マークについては、市民に分かりやすい表現とするため使用した。「生きがい」については、この文言でアンケート調査をしている。

能村委員

「やりがい」のほうが、教職員としてイメージが付きやすい。

千脇委員

成果指標の「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」という文言（41ページ）は、挫折はダメと読めてしまう。学校からするとどうなのか。

上田委員

成果指標を読んだ際に、あるべき子どもの姿が、昭和・平成のように感じるものがあった。画一的な人物像を目指すという教育ではなくなっている今の時代からして、成果指標の設定が難しいと感じた。

江崎議長

「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」という項目は、アンケートから取ってきたものか。

教育総務課

全国学力・学習状況調査から引用している。

千脇委員

「難しいことにも失敗を恐れず挑戦している」（41ページ）と関係し、類似しているため、挫折がダメと読めてしまう項目は削除して、他のものに変えるという選択も必要ではないかと思う。

教育総務課

この指標を設定した背景としては、施策の大綱の四街道の教育が育む力に記載の

ある「どりよくする」を意識している。施策の方向性の中にも「努力できる人を育成します。」とあり、これと関連付けるものとして使用しても良いと考えていた。場合によっては、この項目を省くことも可能である。

江崎議長
米家委員

省くとなると、問題が出る可能性がある。そのままではいいのではないか。

「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」というアンケートの数値が低く、これはそういうことを重要視していない人が増えている時代の流れの現れではないかと思う。この項目は省かず、今後、国や県と同様に数値を比較していけたらいいと考える。

また、成果指標の「興味のあることをたくさん勉強したいと思う」（45ページ）の現状値が低いことに驚いた。

江崎議長

「興味のあることをたくさん勉強したいと思う」の項目について、中学校の現状値が特に低いが、現場として感じることはあるか。

上田委員

興味のあることが見つからない生徒が沢山いると感じる。進路決定の際などでも、どうしてもこの学校に行きたい、この学校で学びたい、という強い意志を持った生徒が数年前と比較して減少していると感じる。夢や希望をもっても、諦めてしまう子どもたちが増えている。

千脇委員

この数値が低い理由については、勉強という言葉が引っかかって、数値が低く出ているかもしれない。例えば、スポーツ選手になりたくて努力していても、それが勉強という認識で答えていないかもしれない。

江崎議長

いずれにしても、この数値を増やしたいというのが事務局の考えということですね。

花井委員

計画書の構成として、インデックスがあると、今どの項目を見ているのかが分かりやすいので工夫してほしい。

山岸委員

全体をみると、障がいのある方や、マイノリティも取りこぼしてはいないという理解でよいか。インクルージョンやインクルーシブという言葉を入れるかどうかは話題にならなかったか。言葉として出しておいた方がいいと考える。

江崎議長

基本目標2について、質問や意見等はあるか。

上田委員

施策3（48ページ）に「共生」という言葉が入っているが、主な取組を見ると「コミュニティ・スクールの推進」や「学校支援活動の充実」など、学校が主になっていることに違和感がある。学校だけでなく、社会全体で障がいを持つ方などに対して何か取り組むということが読み取れるようにしたほうがよい。

千脇委員

51ページの「地域に貢献する活動の推進」について、子ども会活動の活性化に向けた支援を読み取れる文言にしてほしい。

教育総務課

様々な活動団体があり、特定の団体に限定した記述を控えている。毎年作成している教育施策において対応したい。

江崎議長

基本目標3について、意見・質問等はあるか。

花井委員

59ページの芸術公演等の入場者数について、回数も入れたらどうか。

千脇委員

ここでいう芸術公演は、どのようなものを言っているのか。

社会教育課

主に市が共催するものに限定している。注釈で説明を記載するようにする。

- 江崎議長 基本目標4について、意見・質問等あるか
- 千脇委員 不登校の子どもたちの支援の充実（65ページ）について、「各校の取組みを支援します」と記載があるが、これは学校が行う取組みについて市が支援すると読み取れるが、市としてはどのようなことをするのかを伺いたい。また、不登校支援ネットワークや親の会などの市民活動のサポートは、この中に取り込めるのか。団体の方から意見を頂戴しているのでここで読ませてほしい。「①どんな子どもに対しても教育の機会を確保していくことを定めた、教育機会確保法が平成28年に制定されているが、市内では全中学校に教育支援センターが設置され多くの生徒の心の拠り所となっているけれども、小学生の対応も進めてほしい。②学校に行かないことによって、子どもと親が社会から孤立することがないように、学校内・外での居場所の整備を進めてほしい。③不登校に対する理解不足から、状況に応じた支援が受けられなかったり、心ない言葉をかけられたり、2次被害を受けるケースもみられる。学校や相談機関にも、不登校に対する理解や対処について研修機会を設けてほしい。」という意見をいただいている。この方たちはこれが足りてないと感じてこのような意見をくれているので、市としての取組みが見える形にしてほしい。
- 指導課 今お話しいただいたことがすべてこの5年間で可能になるわけではないと思うが、この計画の文章のなかにも、保護者への情報提供や相談対応を行うといった内容を盛り込みたいと思う。
- 花井委員 重点項目のページ（67ページから68ページ）について、重点事業として4つを示した意味を知りたい。
- 教育総務課 各施策に示した取組はどれも重要であるが、その中でもどのような事により力を注いで取り組んでいきたいのかを示した。
- 江崎議長 今回の基本計画において、端的に何をやるのかというコンセプトをまとめたということだと思うが、記載の必要性について再度検討をお願いする。
- 教育総務課 （資料1：第6章から資料編を説明）
- 江崎議長 質問や意見等はあるか。
- （意見なし）
- 各意見の反映について、事務局において改めて検討をお願いする。

議題（2）副題（サブタイトル）の設定について

- 教育総務課 （資料3を説明）
- 米家委員 サブタイトルの意見は、「よつかいどう」という文字が入った方がいいのか。
- 教育総務課 「よつかいどう」の文字にこだわらないが、見る側の興味を惹きつけられるような、キャッチコピーのようにしたい。
- 千脇委員 基本理念が書いているので、サブタイトルはこれでも良いのではないかと。
- 江崎議長 各案に対して様々な思いがあると思うが、副題（サブタイトル）の設定については、事務局に一任したいと思うがいかがか。
- （異議なし）

そのように決定し、本日の議題はこれで終了する。